

第二病理業績一覧
(2025年4月～2026年3月)

- 総 説 -

櫛谷 桂、武島幸男
術前治療後の病理学的効果判定
病理と臨床 44(2): 136-141, 2026.

- 原 著 -

(Ito M., Miyata Y., Hirano S., Morihara N., Takemoto M., Irisuna F.), Kushitani K., (Suda K., Soh J.), Takeshima Y., (Tsutani Y. and Okada M.)
Dual inhibition of GTP-bound KRAS and mTOR in lung adenocarcinoma and squamous cell carcinoma harboring KRAS G12C
Cell Communication and Signaling 23(1): 220-220, 2025.

(Ozono I., Yamasaki F., Onishi S., Yonezawa U., Taguchi A., Khairunnisa N. I.), Amatya V. J., Takeshima Y., and (Horie N.)
Evaluating the super T2-FLAIR mismatch sign in non-contrast-enhancing oligodendroglioma, IDH-mutant, and 1p/19q codeleted
Japanese Journal of Clinical Oncology 56(2): 148-154, 2026.

(Taguchi A., Kinoshita Y., Tominaga A., Yamasaki F.), Amatya V. J., Takeshima Y., and (Horie N.)
Differences in clinical course between pituitary apoplexy and non-apoplexy patients with nonfunctioning pituitary neuroendocrine tumors
Neurosurgery Review 49(1): 247-247, 2026.

(Ozono I., Yamasaki F., Onishi S., Yonezawa U., Taguchi A., Takeishi Y., Khairunnisa N. I.), Amatya V. J., Takeshima Y., and (Horie N.)
T2-FLAIR mismatch sign in nonenhancing astrocytoma, IDH-mutant: impact of tumor area on diagnostic sensitivity
Journal of Neuro-Oncology 177(2): 64-64, 2026.

Aoe K., Kushitani K., Amatya V. J., Nakagiri T., (Miyamoto Y., Okada M.), and Takeshima Y.
Merlin immunohistochemistry is useful in the differential diagnosis of epithelioid mesothelioma and reactive mesothelial hyperplasia
Pathology International 76(1): e70069, 2026.

- 図 説 -

中桐徹也, 櫛谷 桂, 武島幸男, (宮田義浩, 岡田守人, 高橋信也)
肺動脈内膜肉腫の1例
広島医学 78(4): 143-144, 2025.

- 症 例 報 告 -

(三村紀裕, 石橋 愛, 中村優子, 中桐徹也, 岡澤佳未), 武島幸男
FDG-PET/CT が診断に有用であった右鎖骨下動脈原発内膜肉腫の一例
核医学 62(1): 52-52, 2025.

(Askoro R., Yamasaki F., Yonezawa U., Taguchi A., Ohishi S., Ozono I.), Amatya
V.J., Takeshima Y. and (Horie Nobutaka)
Rasmussen encephalitis without atrophy and increased 11C-methionine PET uptake
mimicking glioma: A case report
Neuroradiology Journal (Online ahead of print)

- 報 告 書 -

(鍋島一樹, 濱崎 慎), 武島幸男, 櫛谷 桂, (清水重喜, 廣島健三, 武田麻衣子, 二宮浩
範)
Merlin 蛋白の部分的発現消失(partial loss)に関する他施設共同研究.
令和7年度環境省請負業務
令和7年度石綿関連疾患に係る医学的所見の解析調査業務
「中皮腫診断に有用な免疫染色法の普及と進歩に関する調査」
代表研究者 鍋島一樹

学 会 発 表

- 国内シンポジウム・ワークショップ -

櫛谷 桂, 武島幸男
術前・術後補助療法における病理学的評価の重要性
第66回日本肺癌学会学術集会 演説
シンポジウム9 肺癌診療の未来を拓く病理学の新展開
2025年11月6日～11月8日 東京都

櫛谷 桂, 武島幸男
中皮腫パネルで経験した興味深い症例
第 64 回日本臨床細胞学会秋期大会 演説
シンポジウム 2 中皮腫細胞・組織診断の up-to-date
2025 年 11 月 29 日～11 月 30 日 広島市

- 国内一般発表 -

櫛谷 桂, Amatya V. J., 中桐徹也, 青江耕平, 岡田翔伍, 武島幸男
肉腫型中皮腫と線維性胸膜炎の鑑別診断における Merlin と UHRF1 の有用性
第 114 回日本病理学会総会 演説
2025 年 4 月 17 日～4 月 19 日 仙台市

中桐徹也, (安藤俊範), 櫛谷 桂, 青江耕平, Amatya V. J., 武島幸男
MAML2 split FISH により診断確定に至った耳下腺粘表皮癌の 1 例
第 114 回日本病理学会総会 示説
2025 年 4 月 17 日～4 月 19 日 仙台市

青江耕平, 櫛谷 桂, 岡田翔伍, 中桐徹也, Amatya V. J., 武島幸男
Merlin による上皮様中皮腫と反応性中皮過形成の鑑別診断
第 114 回日本病理学会総会 示説
2025 年 4 月 17 日～4 月 19 日 仙台市

(米澤 潮, 山崎文之, 市村幸一, 田口 慧, 大園伊織), Amatya V. J., 武島幸男, (堀江
信貴)
左頭頂葉 high grade glioma IDH-wild type で SRL にて 1p/19q codeletion と診断され
た 1 例
第 43 回日本脳腫瘍病理学会学術集会 示説
2025 年 5 月 30 日～31 日 山形市

(大園伊織, 山崎文之, 米澤 潮, 田口 慧, Khairunnisa N. I., 唐川修平, 下村麻衣子,
Amatya V. J., 武島幸男, (堀江信貴)
診断に難渋している 1 歳女兒テント上脳腫瘍の症例
第 43 回日本脳腫瘍病理学会学術集会 演説
2025 年 5 月 30 日～31 日 山形市

(Khairunnisa N. I., 山崎文之, 米澤 潮, 田口 慧, 大西俊平, 大園伊織), Amatya V. J., 武島幸男, (堀江信貴)

Rare Brain Metastasis from Intrahepatic Cholangiocarcinoma: A Case Report

第 43 回日本脳腫瘍病理学会学術集会 示説

2025 年 5 月 30 日～31 日 山形市

(三村紀裕, 石橋 愛, 中村優子, 中桐徹也, 岡澤佳未,) 武島幸男
FDG-PET/CT が診断に有用であった右鎖骨下動脈原発内膜肉腫の一例

第 6 回日本核医学会中国・四国支部会 演説

2025 年 7 月 12 日 広島市

青江耕平, 櫛谷 桂, 岡田翔伍, Amatya V. J., 武島幸男

Merlin による上皮様中皮腫と反応性中皮過形成の鑑別診断

第 6 回日本石綿・中皮腫学会学術集会 演説

2025 年 10 月 4 日～10 月 5 日 神戸市

櫛谷 桂, Amatya V. J., (中桐徹也), 青江耕平, 武島幸男

肉腫様/線維形成性中皮腫と線維性胸膜炎の鑑別診断における Merlin と UHRF1 の有用性

第 66 回日本肺癌学会学術集会 示説

2025 年 11 月 6 日～11 月 8 日 東京都

- スライドカンファレンス -

青江耕平, Amatya V. J., 武島幸男

脳腫瘍 (Anaplastic meningioma)

第 78 回広島病理集談会 演説

2025 年 5 月 24 日 広島大学

中桐徹也, (有廣光司), 武島幸男

皮下腫瘍 (Myeloid sarcoma)

第 78 回広島病理集談会 演説

2025 年 5 月 24 日 広島大学

青江耕平

頸部リンパ節 (ALK-positive anaplastic large cell lymphoma, lymphohistiocytic and small cell pattern)

第 79 回広島病理集談会 演説

2026 年 3 月 28 日 広島大学

- 講 演 -

櫛谷 桂, Amatya V. J., 武島幸男
中皮腫の病理診断
第 50 回広島県臨床細胞学会 特別講演
2026 年 3 月 7 日 広島大学

- 講 習 -

Amatya V. J., 櫛谷 桂, 武島幸男
症例 1~8 の解説
第 31 回中皮腫パネル
2025 年 9 月 13 日 広島大学

- C P C -

(柿沢瞳子, 仲野紘士朗), 青江耕平, (牛尾剛己)
誤嚥性肺炎治療中に急速に進行する腎不全を来した一例
第 93 回マツダ病院 CPC
2025 年 12 月 23 日 安芸郡府中町

(明石練人, 竹内誉貴, 村田滉祐), 青江耕平, (辻 英之)
感染症リスクの高い病態で敗血症性ショックに陥った一例
第 94 回マツダ病院 CPC
2026 年 2 月 3 日 安芸郡府中町

- 雑 文 -

武島幸男
座右の銘 「課題を先延ばしにしない」
HIROSHIMA UNIVERSITY BioMed News. 第 13 号 : 2025 年 5 月発行

武島幸男
近年のトピックス : 中皮腫の正確な病理診断ツールとなりうる免疫染色抗体の開発
広島大学医学部創立 80 周年記念パンフレット 2025 年 6 月発行

武島幸男
迅速で、正確で、きめ細やかな病理診断につながる手法の開発
広島大学 SDGs 報告書 2024 2025 年 6 月発行

- 世 話 人 -

武島幸男
第 78 回広島病理集談会
2025 年 5 月 24 日 (6 題)

武島幸男
第 31 回中皮腫パネル
2025 年 9 月 13 日 (8 題)

武島幸男
第 79 回広島病理集談会
2026 年 3 月 28 日 (8 題)

- 座 長 -

櫛谷 桂
ポスター発表 (一般) 77 縦隔・胸腺/漿膜・中皮・体腔 1 (5 題)
第 114 回日本病理学会総会
2025 年 4 月 17 日～4 月 19 日 仙台市

武島幸男
教育講演 1 「中皮腫病理診断の ABC」
第 6 回日本石綿・中皮腫学会学術集会
2025 年 10 月 4 日～10 月 5 日 神戸市

武島幸男
シンポジウム 2 中皮腫細胞・組織診断の up-to-date (4 題)
第 64 回日本臨床細胞学会秋期大会
2025 年 11 月 29 日～11 月 30 日 広島市

武島幸男

シンポジウム2 中皮腫細胞・組織診断の up-to-date (4題)
第64回日本臨床細胞学会秋期大会
2025年11月29日～11月30日 広島市

武島幸男
感染対策セミナー
第64回日本臨床細胞学会秋期大会
2025年11月29日～11月30日 広島市

- その他 -

武島幸男
第64回日本臨床細胞学会秋期大会 副会長
2025年11月29日～11月30日 広島市

- 教室業務 (2025. 1. 1. -2025. 12. 31) -

2025年

病理診断件数	大学病院	2,922
	関連施設	9,283
	総計	12,205

病理解剖件数	大学病院	10
	関連施設	0
	総計	10